

令和6年度
長野県農業再生協議会 総会資料

【 協議事項 】

第1号議案 令和5年度長野県農業再生協議会 事業報告（案）について

第2号議案 令和5年度長野県農業再生協議会 収支決算報告（案）について

令和6年6月
長野県農業再生協議会

第1号議案

令和5年度 長野県農業再生協議会 事業報告

I 事業概要

国は、農業者の減少と高齢化が急速に進行する中で、制定から20年以上が経過した「食料・農業・農村基本法」を改正。法律の基本理念に「食料安全保障の確保」を新たに加え、農産物や農業資材の安定的な輸入を図るほか、農業法人の経営基盤の強化やスマート技術を活用した生産性の向上などに取り組むことが盛り込まれた。

本県では、令和5年度から5年間を計画期間とする「第4期長野県食と農業農村振興計画」において「人と地域が育む未来につづく信州の農業・農村と食」を基本目標とし、次代の長野県農業・農村を担う者に、農地や技術、郷土食、農村文化、農村景観などを確実に“つなぐ”とともに、農業・農村の魅力を向上するため、「皆が憧れ、稼げる信州の農業」、「しあわせで豊かな暮らしを実現する信州の農村」、「魅力あふれる信州の食」の3本柱で施策を展開することとしている。

当協議会においては、これらの状況やコロナ感染症5類移行等の情勢の変化を踏まえつつ、国や県の施策を積極的に活用して、主食用米の適正生産や水田農業の体質強化をはじめ、地域計画による中核的経営体の育成や農地の最適利用を図るとともに、中山間地の農業・農村振興に向け、関係者が一丸となって取組んできた。

(総会の開催状況)

(期日)	会場	協議事項等
令和5年6月	JA ビル	<ul style="list-style-type: none">・ 役員の選任について・ 令和4年度 事業報告について・ 令和4年度 収支決算報告について
令和6年3月	JA ビル	<ul style="list-style-type: none">・ 令和5年度 事業の実施状況について・ 令和6年度 長野県農業再生協議会事業計画について・ 令和6年度 長野県農業再生協議会収支予算について・ 令和6年度 担い手・農地部会の借入金の最高限度額及び借入先について

II 米・戦略作物部会

1 米・戦略作物部会の開催状況

期日	会場	協議事項等
令和5年6月16日(金)	JA長野県ビル 12C会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の選任について ・ 令和4年度 事業報告について ・ 令和4年度 収支決算報告について
令和5年11月27日(月)	JA長野県ビル 13A会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年産米の需給調整の実施状況等について ・ 令和6年度の米政策の推進について ・ 主食用米の需要に応じた適正生産及び水田フル活用の推進について ・ 令和6年産主食用米の生産数量目安値の提示について 等

2 経営所得安定対策及び米政策等の推進

(1) 水田農業経営等に係る研修会等の開催

会議等名称	期日	会場	協議事項等
米政策に係る市町村・JA等担当者会議	令和5年 9月19日	ZOOMによる オンライン開催 (JA長野県ビル 4B会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年産主食用米の需給調整の実施状況について ・ 米穀の情勢について ・ 令和6年産主食用米の需要に見合った適正生産に向けて ・ 主食用米等の転換推進について 等
米政策推進会議	令和5年 11月27日	ZOOMによる オンライン開催 (JA長野県ビル 13A会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年産米の需給調整の実施状況について ・ 令和6年度の米政策の推進について ・ 主食用米の需要に応じた適正生産及び水田フル活用の推進について ・ 令和6年産主食用米の生産数量目安値の提示について 等
令和6年水田農業経営所得安定対策等推進研修会	令和6年 1月25日	ZOOMによる オンライン開催 (JA長野県ビル 12B会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀情勢について ・ 水田農業における需要に応じた生産の推進について ・ 本県における推進・各種事業の活用等について 等

(2) 経営所得安定対策推進パンフレット等の作成

パンフレット等名称	作成部数
経営所得安定対策と米政策	4,100部
米政策に係る生産者向け啓発チラシ	162,000部
水田農業活用施策推進チラシ	55,000部

Ⅲ 担い手・農地部会

1 地域計画の推進

- (1) 地域計画の策定・実行に向けた関係機関・団体の取組を支援するとともに、優良事例の横展開、関係機関・団体との情報共有・連携を進めた。

ア 地域計画策定に係る研修会等の開催

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
令和5年 7月20日(木)	長野市 東部文化ホール	222人	1 長野・北信地域 地域計画策定推進シンポジウム (1) 地域計画策定の進め方及び取組状況について 長野県農村振興課 地域営農係主査 脇本 有希 氏 (2) 地域計画策定に係る農業委員会の役割について (一社)長野県農業会議 専務理事 伊藤 洋人 氏 (3) 地域計画策定に係るJAグループの連携について JA長野中央会 営農農政部 営農支援センター 主任調査役 横澤 秀紀 氏 (4) 市町村及び農業委員会の取組状況について ①長野市、②飯綱町、③中野市、④長野市農業委員会 ⑤飯山市農業委員会、⑥山ノ内町農業委員会

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
令和5年 8月18日(金)	佐久合 同庁舎	95人	1 佐久地域 地域計画策定推進研修会 (1) 地域計画策定の進め方及び取組状況について 長野県農村振興課 地域営農係主査 脇本 有希 氏 (2) 地域計画策定に係る農業委員会の役割について (一社)長野県農業会議 農政・農地部長 小林佳昭 氏 (3) 地域計画策定に係るJAグループの連携について JA長野中央会 営農農政部 営農支援センター 主任調査役 横澤 秀紀 氏 (4) 市町村及び農業委員会の取組状況について【分科会】

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
令和5年 8月21日(月)	松筑建 設会館	110人	1 中信地域 地域計画策定推進研修会 (1) 地域計画の概要及び進め方について 農村振興課 地域営農係 主査 脇本 有希 氏 (2) 地域計画策定に係る農業委員会の役割について (一社)長野県農業会議 専務理事 伊藤 洋人 氏 (3) 市町村及び農業委員会の取組状況について【分科会】 コーディネーター：小谷、麻績、筑北、木曾、大桑

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
令和5年 8月31日(木)	伊那合同庁舎	105人	1 南信地域 地域計画策定推進研修会 (1) 地域計画の概要及び進め方について 農村振興課 地域営農係 主査 脇本 有希 氏 (2) 地域計画策定に係る農業委員会の役割について (一社)長野県農業会議 専務理事 伊藤 洋人 氏 (3) 市町村及び農業委員会の取組状況について【分科会】 コーディネーター：諏訪市、阿南町、下條村、大鹿村

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
令和5年 10月6日(金)	伊那商工会館	75人	1 地域計画策定に係る効果的な「協議の場」の進め方研修 講師：地方考夢員®️研究所長 澤畑 佳夫 氏 (1) 座学：「効果的な協議の場の進め方」 (2) 実践：「ワークショップによる課題への対応方法」

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
令和5年 11月24日(金)	土地改良会館	30人	1 地域計画策定に係る意見交換会 (1) 地域振興局毎の状況報告 (2) 関係団体・部内各課からの意見・報告

(2) 優良事例紹介、情報共有・連携強化

ア 「担い手・農地だより」発行(2回：8・2月)

第40号の発行 8月30日 6,000部配布

- ・認定農業者：志水 敏春 氏(木曾町)「御嶽はくさい」の中核農家であり、農業委員として遊休農地対策にも貢献
- ・農業経営セミナー：農業経営計画支援システム「AGRI X NAGANO」の活用(農業技術課 春日専門技術員)
- ・地域の動き：インボイス制度に係る研修会の開催、雇用確保・労務管理研修会の開催 他
- ・支援の窓：農経営者総合サポート事業について(農村振興課)
- ・イフォメーション：農業経営管理能力向上セミナーのお知らせ(再生協議会)

第41号の発行 3月1日 6,000部配布

- ・認定農業者：(有)「八ヶ岳農産」代表取締役 宮坂 直治 氏(茅野市)ミトマ主体の生産と農産物加工販売、農産物物直売所の運営も手掛け、農業委員として遊休農地対策にも貢献
- ・農業経営セミナー：「キャッシュフロー計算について」(農業技術課 根田広域支援員)
- ・地域の動き：経営継承の研修会開催、「地域計画」に係る効果的な「協議の場」の進め方研修会
- ・支援の窓：地域計画の支援事業について(農村振興課)
- ・視点：農政をめぐる情勢と話題(農的社会デザイン研究所 代表 蔦谷栄一氏)

※ 特徴：「担い手・農地だより」のメイン記事である認定農業者の紹介では地域の中核農家でありながら農業委員としても地域計画に関わっている農業者を選定し、地域の担い手農家が地域計画に対する考え方や取組を紹介。

イ 「地域計画だより」のN01・N02・N03の発行

ウ ホームページを活用した情報発信 通年実施

エ 「農業構造政策推進資料」発刊 3月29日に県下380部配布

2 中核的経営体等の確保・育成及び経営力向上支援

(1) 農業経営の改善・発展支援

ア 県新規就農・経営支援センターの経営専属スタッフとして事業実施を支援。

イ 経営戦略会議の開催

期 日	内 容	対象者
7月7日	経営戦略検討：2件	上伊那：瀬戸真人（水稲）、長野：後藤文夫（果樹）
8月3日	〃：3件	長野：小林茂和（果樹）、関川晃（野菜）、寺澤五十男（花木）
8月30日	〃：3件	北ア：平林義正（水稲）、北信：小池雅章・畔上卓也（水稲）
10月31日	〃：3件	北信：志賀高原培養センター（きのこ）、静間水稲組合（水稲） 松本：古畑英俊（水稲＋花）
11月28日	〃：2件	松本：島立営農組合（水稲）、ゆき農園（イチゴ）
12月22日	〃：2件	松本：（農）有明営農組合（水稲）、上田：久保産直会（野菜）
1月15日	〃：3件	木曾：奥谷渚（野菜）、森田岳（野菜）、北信：石川農園（野菜）
2月2日	〃：3件	佐久：青木 洋介・輿水 達也（野菜）、上伊那：瀬戸 真人（水稲）
2月21日	〃：4件	松本：笹賀地区機械利用組合（水稲）、木曾：近藤一樹（イチゴ） 長野：中島信章（果樹）、東信：掛川正信（水稲＋野菜）

ウ 経営相談会の専門家派遣

期日	専門家名	内 容	対象者
5月16日	福島（社労士）	雇用確保に向けた講習、業務委託と雇用の違い等	小布施町農業経営者協議会（幸作会）
9月13日	福島 〃	労働力確保のための条件整備	農業士協会北信支部
11月10日	野口（税理士）	農業経営継承と税務について	農業経営者協会東信ブロック
12月6日	柳沢（リハビリ） 安孫子（農業機械）	農作業事故防止講習	県 法 人 協 会
1月10日	栗田（税理士）	インボイス制度等税務について	長野地域青年農業者組織
1月26日	野口 〃	経営継承と税務について	軽井沢町農業委員会
1月25日	浦野（経営コンサル）	農業経営法人化について	農業士協会下伊那支部
2月9日	羽場 〃	農業経営計画について	農業士協会北信支部
3月7日	飯森 〃 伊藤 〃	農業経営継承について	農業士協会松本支部

エ 農業経営総合サポート事業のPR推進

- ・当協議会のHPにサポート事業のバナーを作成した。(今後活用事例を順次アップ)

※ 全体評価 ()内数値は昨年度実績

- ① 本年度事業成績：支援対象農家数 25 名 (14) 専門家活用回数 54 回 (33) うち経営相談会 9 回 (4) となり、昨年度より専門家の活用は多くなった。
- ② 本年の傾向として、個別農家では肥料・資材高騰による収益悪化の中で経営計画策定及び労働力確保の相談が多く、団体対象の経営相談会では経営継承・税務相談が多かった。(インボイスの影響)
- ③ 課題：農業委員会等関係団体における当事業の認識不足 (PR不足)

(2) 地域の実情に沿った経営体の育成支援 (参加人員の () 内数値は昨年度実績数)

ア 集落営農経営発展支援研修会の開催 (法人化促進、経営安定対策等)

期 日	会 場	参加人員	内 容 ・ 講 師 等
令和 5 年 11 月 27 日(月)	WEB 開催	120 人 (104 人)	<ol style="list-style-type: none"> 1 研 修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 集落営農組織の現状と課題について 長野県農政部農村振興課 係長 干川 学哉 氏 (2) インボイス制度の実施後の課題について 朝日税理士法人 伊那事務所 神谷 正紀 氏 (3) 肥料・資材高騰による影響と経営改善に向けたカイゼン手法の活用 長野県農政部農業技術課 春日さおり 氏 2 事例報告 一村一農場の精神で農地を守る集落営農組織の取組 (農) まっくんファーム 代表理事 堀 美津男 氏

※全体評価

- ① アンケート結果：参考になった(70%) 大変参考になった(25%) 参考にならない(5%) で概ね好評。
- ② 印象に残った内容
 - ・事例報告の(農) まっくんファームの、収益向上のための付加価値販売の取組。
 - ・インボイス制度の実施後の課題→新たな課題は明確となったが今後の対応が心配。
- ③ 課題：(農) まっくんファームの最大の成果である担い手対策の十分な説明がなかった。

イ 農業経営管理能力向上セミナーの開催（財務・税務、労務管理等）

回・期日	会場	参加人員	内容・講師
第1回 令和5年 12月8日	WEB 開催	82人 (73人)	「農業の法人化」 講師：長野県農政部農業技術課 広域担当普及指導員 高橋 英昭氏
			「農業法人の税務」 講師：朝日税理士法人伊那事務所 代表社員 神谷 正紀氏（税理士）
第2回 令和6年 1月12日	WEB 開催	73人 (60人)	「農業経営の労務管理と社会保険制度」 講師：社会保険労務士法人アンカー 代表 山本 亨氏（特定社会保険労務士）
			「経営計画」 講師：(株)百一姓 代表取締役社長 羽場 権二氏（上級農業経営アドバイザー）

※全体評価

- ① アンケート結果：参考になった(85%)大変参考になった(10%)参考にならない(5%)で概ね好評。
- ② 印象に残った内容
 - ・第2回の(株)百一姓の羽場氏の講習は戦略MQ会計について受講生に問題を解かせながらそのやり取りを他の受講生にも画面を通して見せながら行う予備校のオンライン授業のような手法で実施するなど、WEBを巧みに活用した講習会であった。
 - ・第1回の講習終了後参加農家（木祖村）より、「農業の法人化」の講話後に触発され、中山間地の集落営農組織で法人化している優良事例を紹介してほしい希望があり、当該組合である伊那市農事組合法人「山室」を紹介したことで、代表者と対面による意見交換が1月9日に実施された。
- ③ 課題：講師がここ数年同じで内容がややマンネリ化しているため、来年は新たな専門家を選定。

(3) 雇用人材の確保支援

農福連携推進研修会の開催(障がい者雇用の推進)

期日	会場	参加人員	内容・講師等
令和5年 10月25日(水)	WEB 開催	74人 (113人)	1 研修 (1) 農福連携の取組と課題について ア 農林水産省関東農政局 農村振興部 都市農村交流課 課長 小柳 正彦氏 イ 長野県農政部農村振興課地域営農係 主任 黒澤 窓氏 ウ 長野県セルフセンター協議会 農業就労チャレンジ コーディネーター 須江 淳起氏 (2) 事例報告 企業及び農業者が取組む農福連携 (一社) 信州福祉ファーム 理事長 荒井 清氏

※全体評価

- ① 印象に残った内容
 - ・事例報告で(一社)信州福祉ファーム 理事長 荒井 清氏から農業法人の10年後の雇用シミュレーションを行う中で、人手不足・賃金上昇・雇用助成金の削減を考慮すると、障害者を雇用せざる得ないという農業経営者としての視点が紹介された、一方で、障害者側からは他の業務に比べて、農作業が医学的にも効果があるとする大学の研究調査が紹介され、農福連携の意義とそのポイントがわかりやすく説明されていた。
- ② 課題
 - ・参加者が昨年より大幅に減少してしまった。特に社会福祉関係事業者の参加が少なくなった。これらの参加者については健康福祉部に依頼したが、参加への誘導が不十分であった。
 - ・国の発表資料がWEBで表示することができなかった。(関東農政局はZOOMを使わないとのこと)

(4) 女性農業者の経営力向上支援

事業実施グループ数	事業費	助成額	事業内容
5グループ 伊那谷ゆるっとつながる農業女子の会（伊那市）、下條農業女子まんま（下條村）、まつもと農業女子くらら研修事業部（松本市）、Herbs（ハーブス）（池田町）、fanfan（小谷村）	482,740円	482,740円	マルシェ活動及び勉強会活動等

3 農地の有効活用の推進

- (1) 中核的経営体への農地の集積・集約化支援
農地流動化検討会の開催（情報共有、関連事業の調整等）

期日	場所	検討内容
令和5年 4月28日(金)	JAビル12H会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画の推進について ・農地中間管理事業の取組概要について ・農業委員会サポートシステムの活用について ・各団体からの情報提供
9月20日(水)	JAビル13階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画策定の推進状況と課題について ・農地中間管理事業の実施状況と課題について ・各団体からの情報提供と意識の共有化
11月7日(火)	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画策定の推進状況と課題について ・各団体からの情報提供と意識の共有化

- (2) 農地利用の最適化支援

- ア 遊休農地の発生防止や再生・活用活動の実施(遊休農地解消月間の設定) 8月
イ 農地利用最適化推進研修会の開催

期日	会場	参加人員	内容・講師等
令和6年 2月8日(木)	WEB開催	160人 (120人)	<p>1 研修内容</p> <p>(1) 地域計画の推進状況について 長野県農政部農村振興課 主査 脇本 有希 氏</p> <p>(2) 事例報告</p> <p>ア 産業政策重視はなく地域政策重視の地域計画の取組 中川村産業振興課 農政係 主任 浦上一也 氏</p> <p>イ 地域主体で進める地域計画の取組 飯田市農業課 課長補佐 松本 和博 氏</p> <p>ウ 中山間地域における地域計画の取組 大鹿村産業建設課 農林振興係 主査 池田光一 氏</p> <p>(3) 講演 演題：若者が帰り、遊休農地を活力ある大地に（園地整備で豊かな郷土づくり） 講師：長野市農業委員会 青木 保 氏</p>

※ 全体評価

- ① アンケート結果：参考になった(70%)大変参考になった(30%)参考にならない(1%)で好評であった。
- ② 印象に残った内容
青木 氏の講演は全国的にも評価されている事例であり好評であった。また、事例報告の大鹿村の発表について、話し合いでの失敗事例とそこを踏まえた改善方法の説明が参考になったという意見が多くあった。
- ③ 課題：発表が多かったため、事例毎の説明時間が少なくなり説明が表面的との意見があった。

4 収入減少影響緩和交付金の農業者積立金の管理

・期首残高(令和5年4月1日)	415,816,788円
・4年産積立金返納額	271,496,232円
・5年産積立金納入額	258,523,354円
・期末残高(令和6年3月31日)	402,843,910円

5 会議等の開催

(1) 総会

期 日	会 場	協 議 事 項 等
6月16日(金)	JAビル12C会議室	・令和4年度事業報告、収支決算報告について

(2) 担い手・農地部会

期 日	会 場	協 議 事 項 等
5月18日(木)	JAビルB1会議室	・総会提出議案(令和4年度事業報告、収支決算報告)について ・本年の事業推進について

(3) 事務局員会議

期 日	会 場	協 議 事 項 等
4月28日(金)	JAビル12階H会議室	・令和5年度担い手・農地部会事業計画について ・当面の事業計画について ・各団体からの事業計画及び情報提供
9月20日(水)	JAビル13階会議室	・地域計画策定の推進状況と課題について ・上半期の事業実施状況について ・各団体からの情報提供と意識の共有化
11月7日(火)	〃	・地域計画策定の推進状況と課題について ・下半期の事業計画について ・各団体からの情報提供と意識の共有化
2月13日(火)	〃	・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業計画案 ・令和6年度予算案

(4) 監査

期 日	会 場	内 容
5月15日(月)	JAビル13階会議室	・内部監査(令和4年度下半期業務及び会計処理状況)
5月31日(水)	JAビル4A会議室	・本監査(令和4年度業務及び会計処理状況)
10月17日(火)	JAビル13階会議室	・内部監査(令和5年度上半期業務及び会計処理状況)

IV 中山間地農業振興部会

1 市町村の将来ビジョンに関する支援関係

実施項目	実施時期	実施場所等
(1) 令和5年度ビジョンの策定支援	令和5年 3月31日認定	74市町村（中山間地のない小布施町、南箕輪村、山形村を除く）
(2) 令和6年度ビジョンの策定支援	令和6年 3月末認定予定	74市町村（中山間地のない小布施町、南箕輪村、山形村を除く）

2 地域別農業振興計画に関する支援関係

実施項目	実施時期	実施場所等
(1) 令和5年度計画の策定支援	令和5年 3月31日認定	10地区（全地域振興局、対象77市町村） ※農林水産省電子申請サービス（eMAFF） による電子申請により実施
(2) 令和6年度計画の策定支援	令和6年 3月26日認定	10地区（全地域振興局、対象77市町村） ※農林水産省電子申請サービス（eMAFF） による電子申請により実施

3 地域課題に対する横断的な検討関係

実施項目	実施時期	実施内容
(1) 各地域協議会の活動に対する伴走支援	7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・農村RMOコーディネーターの設置 ・各地域協議会の訪問等による活動支援 ・農村RMOの普及啓発活動 等
(2) 秋山郷地域づくり協議会 実施事業	7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・農用地等利用図の素案作成 ・ジビエ加工施設の改修 ・一人暮らし世帯等への生活環境等把握調査 等
(3) 小谷村農村地域づくり協議会 実施事業	7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と連携した農地保全活動の検証 ・冷蔵機能付き食品ロッカーを活用した無人直売所の試験運用 ・借り上げバスによる買い物支援の実証 等
(4) 戸隠地域づくり協議会 実施事業	7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・農用地の現況把握と見える化 ・特産農産物の加工、販売体制構築 ・生活支援サービスに関する住民ニーズ把握調査 等

4 中山間地農業ルネッサンス推進事業に関する支援関係

実施項目	実施時期	実施内容、事業等
(1) 宮田村推進事業	7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン、地理情報システムを活用した農地・畦畔、法面の特徴解析や管理方法の検討 ・GISマップの活用等による営農状況や活動状況の可視化 等 ※信州大学と共同研究
(2) 長野県推進事業	7月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・プルーン「オータムキュート」品質向上支援（佐久） ・栽培講習会でのアスパラガス施設化推進（上田） ・新規就農者への巡回指導による技術向上支援（諏訪） ・ごまの収量、品質向上のための栽培講習会、巡回指導（上伊那） ・「クイーンルージュ®」の生産拡大（南信州） ・えごま加工品の施策検討支援（木曽） ・ぶどうの収益性向上のため、裂果軽減効果を目指した副梢管理技術の調査、実証（松本） ・クレソン簡易栽培方法の検討のための調査ほ場の設置（北アルプス） ・ピーマン収穫期間延長技術の検証（長野） ・白ネギの早期出荷、越冬作型の検討（北信） 等

第2号議案

令和5年度 収支決算書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月 31日

収入総額 12,337,657 円
支出総額 11,923,195 円
差引残額 414,462 円(令和6年度へ繰越)

1 収入の部

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	備考
補助金	11,942,866	12,378,000	△ 435,134	
委託金	331,984	636,000	△ 304,016	
繰越金	62,807	100,000	△ 37,193	
収入計	12,337,657	13,114,000	△ 776,343	

2 支出の部

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	備考
米・戦略作物部会	2,499,471	2,969,000	△ 469,529	
担い手・農地部会	9,423,724	10,145,000	△ 721,276	
支出計	11,923,195	13,114,000	△ 1,190,805	

※ 各部会会計(案)の詳細は、別紙のとおり

(米・戦略作物部会)

令和5年度 一般会計収支決算書

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月 31日

収入総額 2,913,933 円
支出総額 2,499,471 円
差引残額 414,462 円(令和6年度へ繰越)

1 収入の部

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	備考
補助金	2,851,126	2,869,000	△ 17,874	
令和5年度 経営所得安定対策推進事業補助金	2,851,126	2,869,000	△ 17,874	
繰越金	62,807	100,000	△ 37,193	
令和4年度 経営所得安定対策推進事業の額の確 定に伴う返還金	62,807	100,000	△ 37,193	
合 計	2,913,933	2,969,000	△ 55,067	

2 支出の部

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	備考
経営所得安定対策推進事業補助金	2,436,664	2,869,000	△ 432,336	
県協議会事務費	2,436,664	2,869,000	△ 432,336	
国庫返還金	62,807	100,000	△ 37,193	
令和4年度 経営所得安定対策推進事業の額 の確定に伴う返還金	62,807	100,000	△ 37,193	
合 計	2,499,471	2,969,000	△ 469,529	

(担い手・農地部会 一般会計)

令和5年度一般会計収支決算書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

収入総額 9,423,724 円
支出総額 9,423,724 円
差引残額 0 円

1 収入の部

(単位:円)

科		目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	説明
款	項	目				
1.	補助金		9,091,740	9,509,000	△ 417,260	
	1. 地域営農基盤強化総合対策事業		8,609,000	8,609,000	0	
		1. 担い手育成対策事業補助金	8,609,000	8,609,000	0	地域営農基盤強化総合対策事業(県費補助金)
	2. NAGANO農業女子ステップアップ支援事業		482,740	900,000	△ 417,260	NAGANO農業女子ステップアップ支援事業(県費補助金)
		1. 農業女子経営力アップ支援事業補助金	482,740	900,000	△ 417,260	
2.	委託金		331,984	636,000	△ 304,016	
	1. 経営所得安定対策費		331,984	636,000	△ 304,016	
		1. 積立金管理事務委託費	331,984	636,000	△ 304,016	収入減少影響緩和交付金管理事務費(国庫委託費)
	合	計	9,423,724	10,145,000	△ 721,276	

2 支出の部

科		目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	説明
款	項	目				
1.	担い手・農地対策事業費		9,091,740	9,509,000	△ 417,260	
	1. 地域営農基盤強化総合対策事業		8,609,000	8,609,000	0	
		1. 担い手育成支援事業費	8,609,000	8,609,000	0	(1)研修会の開催 (地域計画推進研修会、集落営農経営発展支援研修会、農福連携推進研修会、農地利用の最適化推進研修会、農業経営管理能力向上セミナー) (2)農地流動化検討会の開催 (3)担い手情報誌、農業構造政策推進資料の発行 ほか (県補助事業)
	2. NAGANO農業女子ステップアップ支援事業		482,740	900,000	△ 417,260	農業女子経営力アップ支援事業補助金 (販売促進活動、学習会の開催等) (県補助事業)
		1. 農業女子経営力アップ支援事業費	482,740	900,000	△ 417,260	
2.	経営所得安定対策事業費		331,984	636,000	△ 304,016	
	1. 資金管理費		331,984	636,000	△ 304,016	
		1. 資金管理事務費	331,984	636,000	△ 304,016	収入減少影響緩和交付金管理事務費(国委託事業)
	合	計	9,423,724	10,145,000	△ 721,276	

(水田リノベーション事業 特別会計)

令和5年度 特別会計収支決算書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月 31日

収入総額 6,297,550 円
支出総額 6,297,550 円
差引残額 0 円

1 収入の部

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	備考
農林水産物・食品輸出促進対策事業 費補助金(水田リノベーション事業)	6,291,000	6,240,000	51,000	
前年度繰越金	6,550	7,000	△ 450	
合 計	6,297,550	6,247,000	50,550	

2 支出の部

(単位:円)

科目	令和5年度 決算額	令和5年度 予算額	増減	備考
水田リノベーション事業に係る 補助金	6,297,000	6,300,000	△ 3,000	
県 事 務 費	550	1,000	△ 450	
補助金返還	0	0	0	
合 計	6,297,550	6,301,000	△ 3,450	